



2023年12月20日

ねぎの
シロイチモジヨトウに
適用拡大!

健全な生育をしっかりと守る。
きれいな立ち姿の
ねぎにしあげる。

近年問題のネギハモグリバエ バイオタイプB (B系統)、
薬剤のかかりにくい葉の隙間に潜むネギアザミウマにも、高い効果!

極微量の経口取り込みで、害虫の加害を即停止。3~4週間の長期残効。



ネギハモグリバエ*1



ネギアザミウマ*2

*1 原図提供:徳丸曹虫氏(京都府農林水産技術センター) *2 提供:柴尾学氏

抵抗性害虫の出現回避のために、
同一系統成分粒剤の連続散布は避けましょう。



野菜用殺虫剤

プロトン® 粒剤
オメガ

powered by
CYAZYPR®
ACTIVE INGREDIENT

ジアミド剤のプロ
FMCの卓効成分
シアントラニリアロール
(通称:サイアジビル®)
0.5%配合!

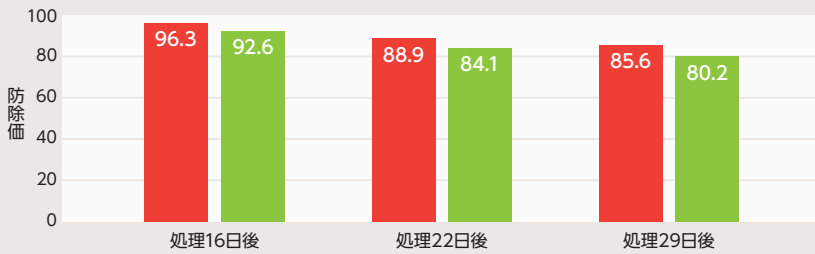
使いやすい、
さらさらの粒剤で、新登場!

- 特長 1** 近年問題のネギハモグリバエ バイオタイプB(B系統)、
薬剤のかかりにくい葉の隙間に潜むネギアザミウマにも、高い効果！
- 特長 2** 極微量の経口取り込みで、害虫の加害を即停止。3~4週間の長期残効。
- 特長 3** ジアミド剤のプロFMCの卓効成分
シアントラニリプロール（通称、サイアジピル[®]）0.5%配合！

抵抗性害虫の出現回避のために、
同一系統成分粒剤の連続散布は避けましょう

殺虫効果の高さと残効の長さ

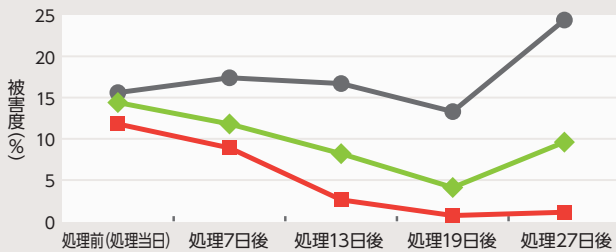
■ネギハモグリバエ バイオタイプB(B系統)に対する防除効果



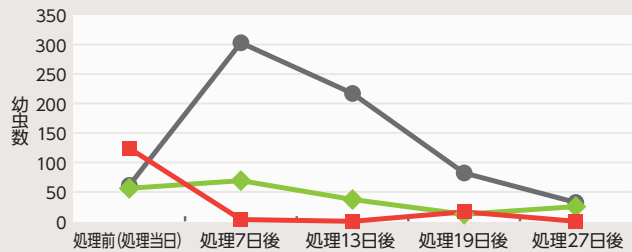
■プリロツ[®]粒剤 ■対照A剤

2019年 一般社団法人日本植物防疫協会 茨城研究所
播種：3月28日
定植：5月13日
処理：5月14日（所定量株元に散布し、散布後十分量灌水した）
考察：対照薬剤と比較して勝る防除効果が認められた。発生したネギハモグリバエは葉面が白化症状を呈し、これまで知られているメイン形成と異なり、新系統（B系統）の可能性が高いと思われる。

■ネギハモグリバエに対する防除効果



■ネギアザミウマに対する防除効果



■プリロツ[®]粒剤 ■対照A剤 ●無処理

2019年 鳥取県園芸試験場弓浜砂丘地分場
品種：関羽一本太(トーホク) 播種：2月20日 定植：5月8日 処理：6月13日(6kg/10a株元散布し、土寄せした)
考察：対照薬剤と比較して高い効果が認められた。

*プリロツ[®]粒剤オメガとプリロツ[®]粒剤の薬効は同等です。

使用方法と使用タイミング

定植時～土寄せ1回目までの使用で、3~4週間の高い効果を発揮



- プリロツ[®]粒剤オメガは、水分を得ることで有効成分が溶出し、高い効果を発揮します。そのため、適度な土壌水分が確保されている状態が最適です。
- 散布後に灌水を行ったり、降雨の前後をねらって散布してください。

適用害虫と使用方法

2023年12月20日現在

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類 シロイチモジヨトウ	6kg/10a	収穫前日まで	3回以内	株元散布	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の処理は3回以内 (但し、株元灌水は1回以内))

その他の適用作物：キャベツ、はくさい、ブロッコリー、レタス、ピーマン、トマト、ミニトマト、きゅうり、なす、すいか、メロン、だいこん、畑わさび、なばな類

- ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

©2024 FMC Corporation. All Rights Reserved. FMC、FMCロゴ、®を付した商標は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。

PRY-GHN2A



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

製品情報は
こちらから➡

